

グループディスカッション ワークシート（要点まとめ） グループ名:D

【テーマ】「大人から子どもまで障害のある方を理解し支え合う武蔵野市を目指して
～実現のために自立支援協議会ができること～」

ワーク1：「各部会の活動報告を受けて」

- ・地域移行部会において、武蔵野市内の情報だけでなく他市の情報を把握できたことについて非常に評価できた。
- ・ふれあいカフェにおいて上手くいかなかったこともあると思うが、色々なつながりが形成されていく機会になったのではないかな。
- ・障害のある方が家を借りるハードルが高いと感じる。不動産会社において、審査に落とした理由についての開示義務がないことも理由である。
- ・障害の方が家を借りるにあたり、どんな要件があれば審査が通りやすくなるのか、不動産会社に聞いてみたい（何かあれば、週に何回か看護師が見回りにくるなど）。ドクターや訪問看護の方々の見立てなどを提出する、近くにすぐに駆け付けられる支援者がいるなどがあると借りやすくなるようだ。
- ・障害のある方が家を借りることは大変なのだと改めて実感した。こうすると家が借りやすいという裏技のようなものも含めて教えてもらったが、逆にそういった裏技を駆使しないと容易に家を借りることができない現状は変えていかなければならないと感じる。

ワーク2：「今後の協議会活動に向けて（課題と目標）」

ワーク1を踏まえ、今後本協議会が取り組むべき課題と目標などを意見交換する

- ・自立支援協議会自体、他の関係機関や地域の人々の参加がなく、開かれた協議会になっていないと思う。
- ・当事者部会はコロナ前後で人数が減ってしまった。コロナ前は対面15名、メーリングリストの登録だけでも50名を超えていたのにコロナ後は対面6名、オンライン4名程度に減ってしまった。どのようにしてコロナ前の状態に戻すかは課題となる。
- ・自立支援協議会を今より活発化させるためにも、当事者部会の強化がより優先の課題であると考えている。
- ・障害について、よく知らないから怖い、知らないから配慮の仕方がわからないという人が多いのではないかな。障害がある方がどんな生活をしてどんな支援を必要としているのかについて、地域の方々に知っていただくということが重要だと実感した。
- ・正しい情報と知識が地域の方々に伝わっていくことが重要だ。特に子どもの頃から障害のある方と触れ合う機会があり、正しい情報を知っていれば大人になってからも配慮の必要性やこういった方法で配慮したらよいかかわかると思う。
- ・イベントなどがあれば躊躇せずに入って行って積極的に発信していくなど、地域に対する発信力を高めることも我々の課題であると考えている。

